

令和4年度 第2回玉垣小学校学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和4年6月16日(木) 16:00~16:45

2 場 所 図書室

3 あいさつ(委員長・学校長)

4 協議内容

(1) 玉垣小学校区内の危険箇所について

- ・ 例年、PTAも危険箇所のチェックをしている。

子どもたちの安全に向けて、学校ができることも取り組んでいく。

しかし、危険箇所の改善は学校の力だけではなかなか進まない。昨年度のことだが、西玉垣の地下道について、自治会連合などの力をお借りして進んでいると聞いている。学校や地域、家庭ができることを一緒に考えていただけるとありがたい。

Q 危険箇所の一覧は、教育委員会へ提出したあと、教育委員会で対応するのか。

A (教育委員会より) 教育委員会からというよりは、学校や自治会から要望をいただいた上で対応していくことになる。

Q 玉垣幼・小あんしんみまもり隊の総会では、危険箇所の話は出たか。

A 具体的な箇所についての協議はなかったが、危険箇所も見守ろうという意見は出た。

Q 登校時については、学校として何か指導をしているのか。

A 本校は集団登校の形態をとっている。通団会で確認や指導も行っているが、地域の方が付き添ってくださる団が多くて驚いたし、ありがたく思っている。

Q バイパスの工事はいつ終わるのか。先日、国道で事故があって、迂回する車を誘導するのにボランティアの方が苦慮されていた。

A (自治会関係者より) 本年度末(3月)と聞いている。先日も地元自治会の方と一緒に話を聞いてきた。通学路としても迂回しなければならなかったり、安全が十分に確保されていなかったりする現状がある。カーブミラーの設置や、ガードマンの対応についてなど、要望書や業者への依頼をしているところである。

- ・ 今回の資料をもとに、学校運営協議会とPTAの安全環境部、玉桜まちづくり協議会の防犯部で、実際に確認する機会をもてるとよいのではないか。
- ・ どのくらい危険なのかを知りたい。実際に冠水した状況等、危険な状況の写真も記録として撮っておくとよい。
- ・ 教育委員会の「ここはあぶない」の赤い看板をもらって、設置している場所もある。
- ・ 消防団として「ながらパトロール」を計画している。反射板のついているタスキを作って、散歩しながらパトロールの協力を依頼してみようかと考えている。
- ・ 子どもたちに意識させるために、総合学習の一環として防犯マップづくりに取り組み、壁面に大きな地図を掲示する学習活動もよいのではないか。
- ・ 玉垣幼・小あんしんみまもり隊の方々も毎日見ているので、危険箇所につい

てもよくご存知だろう。今後も情報共有を図っていきたい。

- ・ 児童数が少ない地区など、子どもが一人になってしまうときもある。複数で行動することを徹底できるとよいが、自宅に近づくほど難しくなる。地域の方の中には、下校時刻に散歩している人も多いため、見守りを助けてもらえるとよい。
- ・ 道の真ん中に壊れたビニル傘が落ちていた。端に寄せて置いたら、溝に捨ててあった。廃棄物で子どもの目に触れさせたくないものもある。

(2) 関係機関との連携について

- ・ 地域の各団体と連携しながら、危険箇所の改善に向けて取り組んでいきたい。
- ・ P T A会長からP T A安全環境部へ声をかけてほしい。

5 意見交換

(1) 連れ去り予告メールへの対応について

- ・ 6月10日（金）の連れ去り予告メールに関して、登校時もいつもより送りの車が多くて混雑していた。
- ・ 全国的にニュースにもなっている。被害は確認されていない。学校としても、前日に保護者に配信し、児童にもあまり怖がらさないように配慮しながら指導して、注意喚起を行った。
- ・ 登校時に、高学年の子が低学年の子に気を付けるように声をかけている姿も見られた。
- ・ あんしんみまもり隊をはじめ、自治会関係、保護者等、地域の方にも多く見守りをいただき、大変ありがたい。

(2) ボランティア活動について

Q ボランティアはどんなことをするのか。

A 学習ボランティアは、教室に入って困っている児童のサポートをしている。図書ボランティアは朝の読書の時間に、ボランティアが選んだ本の読み聞かせをしている。

- ・ 1回目のボランティアミーティングを終えた。
- ・ 新規登録は学習が2名、図書が2名。継続の方は学習が8名、図書が4名。図書整備ボランティアも3名の予定。今後登録予定の方もいる。
- ・ 常時のボランティア要請は、現在はほとんどが1年生。高学年は、家庭科の実習や図工の工作になるとニーズが増えてくる。教員の意見を把握しながら、活動範囲を広げていきたい。
- ・ コロナ禍による自宅学習の期間を過ぎて、ボランティア活動を再開したら、Chromebook の活用が進んでいた。簡単な操作については、保護者に配付した資料などを使って、ボランティアも支援できるようにしたい。
- ・ ボランティアを再開できて良かった。ぜひ今後も継続していただきたい。

(3) その他

- ・ テレビでランドセルが重たくなっているが、対応は学校によって様々だと放送され

ていた。子どもたちは夏場は水筒も持って行くので、さらに荷物が増える。昔に比べて教科書が多く、大きくなっている。学校に置いていってもよいものを伝えて、なるべく軽くなるような配慮はしている。

- ・ 今年もPTA奉仕作業を計画している。

6 鈴鹿市教育委員会より

(1) 学習ボランティアについて

- ・ 新型コロナウイルス感染症の様子に変化が見られる。コロナについても随分分かることが増えた。
- ・ それに伴って、これまで中止してきた学習ボランティアも再開のきっかけの年になると思う。ぜひ「ボランティアさんに来てもらいたい」という呼びかけを積極的に行ってほしい。

(2) 危険箇所について

- ・ 危険箇所については、本日協議されたように、一覧表で確認するだけでなく、PTAやまちづくり協議会との連携や、消防団から提案された散歩の時間を活用してパトロールなど、具体的に動いていけるとよい。
- ・ それぞれの団体や立場の方が、子どもの安全のためにという目標に向かって、いろいろな方法で協力してもらえるとありがたい。

7 その他

- ・ 今後の運営協議会の開催予定